

慶びの春

念仏の声を子や孫に



寺報
善巧

発行

938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山497
白雪山 善巧寺
□宇奈月(07656)(5)-0055

大谷光真御門主御親修
親鸞聖人御誕生八百年
慶讚法要特集
昭和五十七年四月二十八・二十九日

御門徒の皆さん、有難うございました。今、筆を執つて申し上げたい事は、此の一言だけです。
ご門主様を迎えての、慶讚法要が、この度の法要の一つ一つの時と処に、二十八・二十九の両日に亘つて余すところなく發揮されました。

実は、この二日間、私は遠くから来た娘や弟とも疎に話も出来ぬほど、忙しく動き廻っていました。今から思うと、よく私の身体が何ともなかつたものだと感心している次第です。

その間、二十八日の門信徒大会で意見発表なさった方々の眞剣な唇の動き、二十九日の稚児行列を眺める皆さんの瞳の輝き、御法要中の、御門主の一舉一動を追う視線の流れ、御一緒に称えた正信偈の力強いひびき等々：善巧寺を中心とする一帯には、正に悦びの法の庭が現前致しました。

この悦びの中で、私自身、無心に右往左往して、今も尚何となく放心状態の中で筆をとつてゐる次第です。

思えば、当日の天候一つをとつてみても、天気予報は、すべて、悪天候の予報の中で、一週間以上も続いた好天が持続して「よかつたよかつた」と、心から悦んで下さり「お蔭様で」と、心から答えさせて頂くことが出来ました。

飾りのチューリップの花にして、今年は、例年よりも十日以上も開花期が早まるのではないかと

感謝のことば

いう心配の中、浦山新、板屋他の方々が、部落総出で、摘花作業や飾り作業に協力して下さつて、お蔭でハレをさせて頂きました。大法要の大成功は、此の六年间は「くれぐれも皆さんによろしく伝えてください」と仰言いました。二十九日夕刻、本山からも、別院からも、御門主の無事帰山の報告がありました。

今となれば、此の皆さん方の六年間のあれこれの御働きの一つ一つは、楽しい思い出であります。実行委員の皆さん、何十回会合をお持ちになつたことでしょう。御婦人衆は、境内の除草に何度、足を運ばれたことでしょう。建設関係の方々も、施設関係の方々も、そして全門信徒の方々の夫々も、法要の成功に向つて夫々の役割を果して下さいました。有難うございました。

秋には、親鸞聖人七百回忌法要と、そして待ちに待つた明教院二百回忌法要が控えております。

善巧寺の法の庭は、今度は、おぞかな聞法の光明に照らされなければなりません。来るべき御縁に遭遇出来る機を、お互に心して御待ち致しましよう。

寺の活動状況など体験発表



慶びの春

門信徒大会

4月28日午後7時～9時

門信徒大会——法要前夜の二十一日、ご門主ご臨席の「お初夜」とあって、本堂には五百余名の門信徒が参集しました。寺を中心には活躍する様々な組織、団体の代表が、それぞれの体験を発表、ご門主や助言者の宮崎勧学から、あたかいはげましのことばをいただきました。

私は浦山小学校5年八木郁江であります。日曜学校の皆んなの代表として発表させていただきます。

私の学校での成績はあまりよくありませんが日曜学校の出席率は良い方です。

保育所の時から5年になり今は古い方です。保育所

の時おにいちゃんについて

来たのが最初でその時の話

が地ごくの話でした。生き

物を殺すといけない「カ」「ハ

エ」も生き物でパチンとや

るとやがて地ごくでパチン

とされるとうかつ地ごくの

こわい話でした。

日曜学校では楽しい事が沢山あ

ります。第一に子供盆踊り大会、大

ぜいの人達でにぎわいます。それ

に花まつり、焼いも大会、おにぎ

り大会、もちつき、夏休みの一泊

の研修などの大変でもおなかが

いっぱいになります。そして力い

っぱいはね廻ります。

それから雪ん子劇団の公演は、

私達のはりきりの場です。富山で

もやりました。昨年の教育センタ

ーでの公演はしょい賞をいた

だきました。これからも中央の場

を目標にするそうで私達は楽しみ

です。今度の5月16日には黒部ラ

イオンズクラブのおまねきで全国

の人達を前に、がんばります。そ

れ凡夫を救うことのみを願われる

八日、ご門主ご臨席の「お初夜」とあって、本堂には五百余名の門信徒が参集しました。寺を中心には活躍する様々な組織、団体の代表が、それぞれの体験を発表、ご門主や助言者の宮崎勧学から、あたかいはげましのことばをいただきました。

毎日が楽しく幸せ

浦山日曜学校 八木 郁江

の時は、私は主役をねらっております。一度御門主様にも見ていただきたいと思います。

昨年は又皆

んなでボート

ピアに行きました。

高槻の

常見寺で一泊

し本願寺へも

行きました。

沢山のハトと

遊んでまし

た。又お寺で

はみんなでさ

わいで男先生

にしかられ

あまりねむれませんで

した。でも行けない人が多くいる

中で私達は本当に幸せでした。



よつこことよつこそ

宇奈月夢を語る会

中山慶太郎

宇奈月夢を語る会は三年前に発足したものでございまして、若い方は三十才、そして四十、五十、七十才代を交えた十数名のものでつくっているものでございます。

この会の精神は、ハッピーの襟に染め抜いてありますように「ようとこそ」であります。ご承知の通り「ようとこそ」は相手に対する感謝とねぎらいをあらわすもので、もとよりこれは、われわれ凡夫を救うことのみを願われる

お父さんは夢を語る会、お母さんはお菓子を食べる会、おばあちゃんはお菓子を食べる会、おばあちゃんはお菓子を食べる会、お母さんもお父さんとお母さんは時々けんかをします。私は大へん苦労します。ようこそようこそそもそもまだ修行がたりないと思います。私も女の子とはけんかしませんが、男の子とはよくけんかします。そして泣かれます。反省しております。私はまだまだよい子になります。けんかもしないようになります。けんかもしないようになります。先生の言うことを聞きます。お父さん、お母さんの言うことを聞いて、おばあちゃんを大切にします。

おばあちゃんがいて、お父さんお母さんがいて私がいる。男先生がよくいうことばです。今、毎日が楽しく幸せです。皆さん本当にありがとうございます。お父さんは夢を語る会、お母さんはお菓子を食べる会、おばあちゃんはお菓子を食べる会、お母さんもお父さんとお母さんは時々けんかをします。私は大へん苦労します。ようこそようこそそもそもまだ修行がたりないと思います。私も女の子とはけんかしませんが、男の子とはよくけんかします。そして泣かれます。反省しております。私はまだまだよい子になります。けんかもしないようになります。けんかもしないようになります。先生の言うことを聞きます。お父さん、お母さんの言うことを聞いて、おばあちゃんを大切にします。

法要前夜の“おっしゃさま”にご門主臨席

頭」などを踊ります。
月例会は毎週第二土曜で、これからもこのような活動を続けて少

万個のチュークリップに
かこまれています。親
鸞聖人ご誕生八百年の
慶讃法要をご門主様を
お迎えしておつとめす
ことは本当にうれし
いことあります。

いまこの御堂は十数
年前に初会合をひら
きました。勉強の内容
はおつとめ、お作法そ
して聞法。中休みでは
お茶が出来ます。人生の
味わいを深めるために
も；と、日本一おいし
いお菓子を全国からと
りよせて、舌づみを
打ちます。

話し合いの時間には
いろんな質問がとび出
します。法事のハウツ
ー、お経の意味、人生
の問い合わせまで。

メンバーは約三十人
で女優の浜美枝さん

お菓子の味 人生の味

善巧寺若婦人会 二口 民子

がお越しになって、子育てについて
話し合つたりします。

仏教といえばお年寄りの分野と
いうイメージですが、明るい地域
社会活動にとり組んでいらっしゃ
る雪山先生のわかりやすい、味の
ある、おもしろい法話を聞き、人
生のさまざまな問題を話し合える
場として、今後とも積極的に参加
して、この集いを有意義に発展さ
せたいと思っています。

私事で恐縮ですが、二児の母と
して家事と職場に追われている毎
日です。その中で校内暴力の問題
や、もちろんの宗教の悪宣伝など
の問題が身近に感じられ、より一
層み教えを聞かせていただきねばと
思っております。

皆さん、私はこのお寺の門徒で
なく、信徒です。これまでおま
いりすることなどなかつたわたし
が、このごろ気軽にこのお寺によ
せていただいている。日本一お
いしいお菓子も用意してあります。
若い奥さま方、もつともつとこの
会に参加して下さいませ。



達書伝達式

本山よりお祝いのことば

高山 教区 黒西 佐
善巧寺

あたび 親鸞聖人誕生八百年立教
開宗者至平き慶賀はを仰げれる
にあり衷心すお慶び申し奉手
にむかふ教育文明の現実の世界
でひきて人間除外の危機が叫れてゐ
る。書の松連は不眞誠が凶暴で
何所院如来の本願を退させていた
だく身に背離れたことは偏に、觀
聖人ご出世の陽であります
遠く合掌の往時を偲せて、たゞ
手の上に生まれたことは偏に、觀
求の氣人間が根深い苦惱を解放さ
れ真向で生きる道を何所院が示

ふれた顔ばかりでございましょう。
きっと、阿弥陀如来様のお恵みで
生かされているようこびがこのお
だやかな表情を生むのでしよう。
真宗宗歌、正信偈、らいはいの
うなどのおつとめのあと、しば
らくお話を聞き、休けい十分。そ
のあと再び座談で出た問い合わせ
みんなで話し合い、御文章、恩徳
讀でおわります。何と若々しく張
りのある澄みとおつた声でしよう。
浦山お經の会——三法要を縁と
してともされた小さな燈火ですが、
この春の野辺の花の如く清らかに咲
き始めることを、ようこびのう
ちにご報告して、私の話を終ります。

の御本願に仰げ津喜豈と開跋さ
れただけあります

聖人のお流れとも会徳者は互に力
を合わせ津喜宗のな教えがほのども
ひとして一人でも多くの人々につたえられ
社会が照らし現代の不安と混沌を救
うとこそお本願に生きられるもの使命
であると思ふます

聖人の迷訓を除いて志を同一く
する終て人の疾と妻とを難集し明
る、なむかふ社会の実現と寺門を申
心に注目し常に努力もって宗門の
興隆に寄与すすむ所すら余裕すらあ
ります

ここに記念品を贈りお祝いとさ
といだします

昭和57年5月16日

浦山真宗本願寺派
総長 豊原 大潤

野辺の花の如く

浦山お經の会 本波 光雄

寺に若院様をたずねて相談しまし
たところ大へんよろこばれました。

こうして二月三日にお經会が発

足。新しい集会所のお内仏で以後
現在にいたるまで毎月第一、第三土
曜の夜に勉強会をひらいております。
私が集会所に行きます頃は、すで
に多くの方々がお見えになつてお

られます。

「ようこそお出下さいました」と
お互に御挨拶をいたすみなさんの
お顔は、何とおだやかで、喜びにあ

ります。

お互いに御挨拶をいたすみなさんの
お顔は、何とおだやかで、喜びにあ

ります。

この春の野辺の花の如く清らかに咲
き始めることを、ようこびのう
ちにご報告して、私の話を終ります。

夜遅くまでこうして皆様と、仏様を前にしてお話をできることを楽しみました。

明日の大法要をひかえて何かといたが、私がしっかりと時間をかけていただき、私も法要にのぞむ心が整つたように思います。

このお寺を中心に、いろいろなあつまりがあることをうかがいました。

北陸地方は全般的に非常に長い

淨土真宗の熱心な方たちの伝統がござります。

その伝統の中では役割がきちんと

して、こういう家の方は本人の意志にかかわらず、こうい

うお仕事を「となつてしまい、ご本人の

お念仏をよろこぶ気持とその役割を一

致させるのがむずかしいところもあるう

かと思うのであります

すが、こちらではそうした問題を

いろいろな努力を重ねてのり越えようとしているつしやることを知りうれしく思いました。

また、今夜は日曜学校の若い方々もみえています。先程から元気な声が聞こえていました。話し合ひの方は少しまずかしかったかもしれませんが、こうしたことを何

ご門主 門信徒大会のおことば



聞きておりになりにくいかもしませんが、気持をつけとつてください

悲を、一人一人が聴聞させていただく：このご縁も、そうしたことと味わってゆけたらと思います。ちょっと風邪を引きまして、声がお

起きたいと思います。

慶びの春

門信徒大会

4月28日
午後7時～9時

かのご縁にしてほしいと思います。さらにお経を学ぶという話、家庭での仏事のお話もありましたが大事なことは、これらすべてではなくわたしのための法座であるということ、仏様が本当のこと伝えるために、目ざめさせるために、こうした手立てをもよおして下さっているのだとうけとつてゆくことだと思います。この世で何が真実かわからぬで右往左往している私達

大事なことは、これらすべてではなくわたしのための法座であることです、仏様が本当のこと伝えるために、目ざめさせるために、こうした手立てをもよおして下さっているのだとうけとつてゆくことだと思います。この世で何が真実かわからぬで右往左往している私達

帳場にて

尾澤 初雄

わたしは寺の帳場を預かっております世話方の尾澤初雄であります。わたしはこの世話方を引受けさせて頂いたいきさつであります。

が六年前の総代会の席上で今までの世話方が病氣でこられないで誰か出てくれぬかとのことでありました。そこへ私も同席していましたので、「尾澤、お前は黒部市役所に勤務していたのでお前がやれ」と押しつけられました。さあどうしたら

お講・法事他

佐々木与作
鬼原 勝次

が帳場へ来て逆立ちをして聴聞せぬお前等はこのように地獄へまさかさまになる奴等だと嘲笑つたそうです。そこで私はなるほどと思ひ録音テープを用意して家へ帰つてから聞いていましたがこんど帳場や台所にいましても聞けるスピーカーをつけてもらいました。

お聴聞させて頂きながらゼニ勘定をさせて頂いています。個人的なことばかりであります。なんといつてもこの六年間本当に、皆さんよい心の集りでした。世間一般ではお金を集めるとなるとなかなかむずかしいことでいろいろと文句も出たりしますけれど今までばかりは何の文句もなくみんなでこのよろこびを頬ち合えることはほとんどうれしい限りであります。

宮崎和上ともども、メモをとりながら「さすが伝統の富山だなあ」

という表情をしておられました。

このあと、総代で今度の法要では本部詰めで全力投球をして下さった鬼原勝治さんが、座の雰囲気を変えて、問題提起のかたちで、現代における宗教のあり方、現世

聖人の時からあって、蓮如上人

の時代にさらに大規模になつたよ

うです。おもしろいのは、善巧寺

と同じように、必ずおときが出た

ことがあります。戦後はめつきり

下火になりましたが、このお寺の

お講はなかなかすばらしい。これ

からも永久に続けるように努力し

て下さい」とのはげましのことは

をくださいました。

その他、ご助成、仏青、尼講な

どの地域活動を報告、さらに下新川地区の法事のあり様をこまかく述べると、特に「ごねんきさま」

のくだりでは二門主や、松本總務

なお、この門信徒大会の会場でご門主の平和宣言のコピーを配布しましたが、残部ありますので希望者はその旨申しつけて下さい。



慶びの春

朝のおつとめ

4月29日午前7時

法話

勸学宮崎圓遵師

お待ちかねのご法要をいよいよ

おつとめになられるわけですが、心配された天候もよくて安心でございましたね。

ところで、今日のご法要是、親鸞聖人のご誕生八百年をお祝いする法要であります。ご承知のよう

に聖人はいまから八百年前に京都の南・日野の里にお生まれになりました。お家は日野家であります。

して、この日野家は藤原氏のわかれで、中流程度の家であります。

聖人は肉親の縁うすくお気の毒な方であります。お父さまは、

ことによれて一つま

り何かの異変不幸があつて、三室戸に出家隠棲されました。

また聖人のご兄弟は聖人を長男として、五人おられたようですが、五人もすべて出家して仏門に入つております。これはつまりお

家の後継がなくなつたということでありまして、よくよくの不幸があつたようです。

さて、聖人は九才で出家され、比叡山で勉強や修行をされました

が、仏になる道がみづからず、後に法然上人のもとへまいられる。

そこで他力の念佛の信仰に入れられて、これが聖人の「第二の誕生」といっていいでしよう。今

日このお寺でお迎えする誕生八百

年は第一の誕生であります。

聖人は以後、法然上人のところへ七年間通われるが、念佛の教えが盛んになると、比叡山や奈良の諸大寺から弾圧が加えられて、ついに念佛は禁止され、聖人も流罪になられる。そして上越に七年、

それ以後は、私達の持続するお聖教のすべてを書かれる。八十歳から九十歳

一、二歳で再び京都へもどられる。

それ以後は、

私達の持続するお聖教のすべてを書かれる。八十歳から九十歳

仏法は



聴聞にきわまる

おかみそり

を聞くことにつきるわ

けでありますから、どうぞ聞法に力を注いでいただきたい。

「至つて堅きは石なり、至つて柔らかなるは水なり。

水よく石を穿つ。心源もし徹しな

ば、菩提の覚道何事か成せざらん

といえる古きことばかり。いか

に不信なりとも、聴聞を心に入れ

いをすることも、これを忘れてはならない。聖人が生涯を通じて、老軀にムチ打つておのこし下さった他力の信心を、この私が

この三帰依をあらわすものであります。お釈迦さまの子になるのです。もつと手近にいえば、わたしたちは親鸞聖人の直接の弟子になつたということですから、

なお一層、法を聞くことに力を注がれ、仏弟子として恥ずかしくない生活をすることがもつとも肝要であるうと思うのであります。

法要をお迎えする所詮がない。私達が聖人に對するご恩報謝は「信心を決定する」ということであります。

蓮如上人もおつしやるようになります。

さて、つけ加えて、今日はご

門主のお出ましで、これからおかみそりをうけられる方がたくさん

おられるようですが、この帰敬式

というのはいつごろからかと申しますと、お釈迦さまが仏弟子とす

るために在家の男女に「三帰」を授けられたのがはじまりです。

まず、仏に帰依し、法に帰依し僧に帰依する—これを三帰といいます。われわれの宗派では、ご門主にかぎつておかみそりを授けられる。で、





慶びの春

帰敬式

4月29日午前8時

富山教区黒西組
善巧寺門徒

野畠松二氏
橋爪昭子さん
ほか二百七十名
ただいまから
おかれりを
いただきます

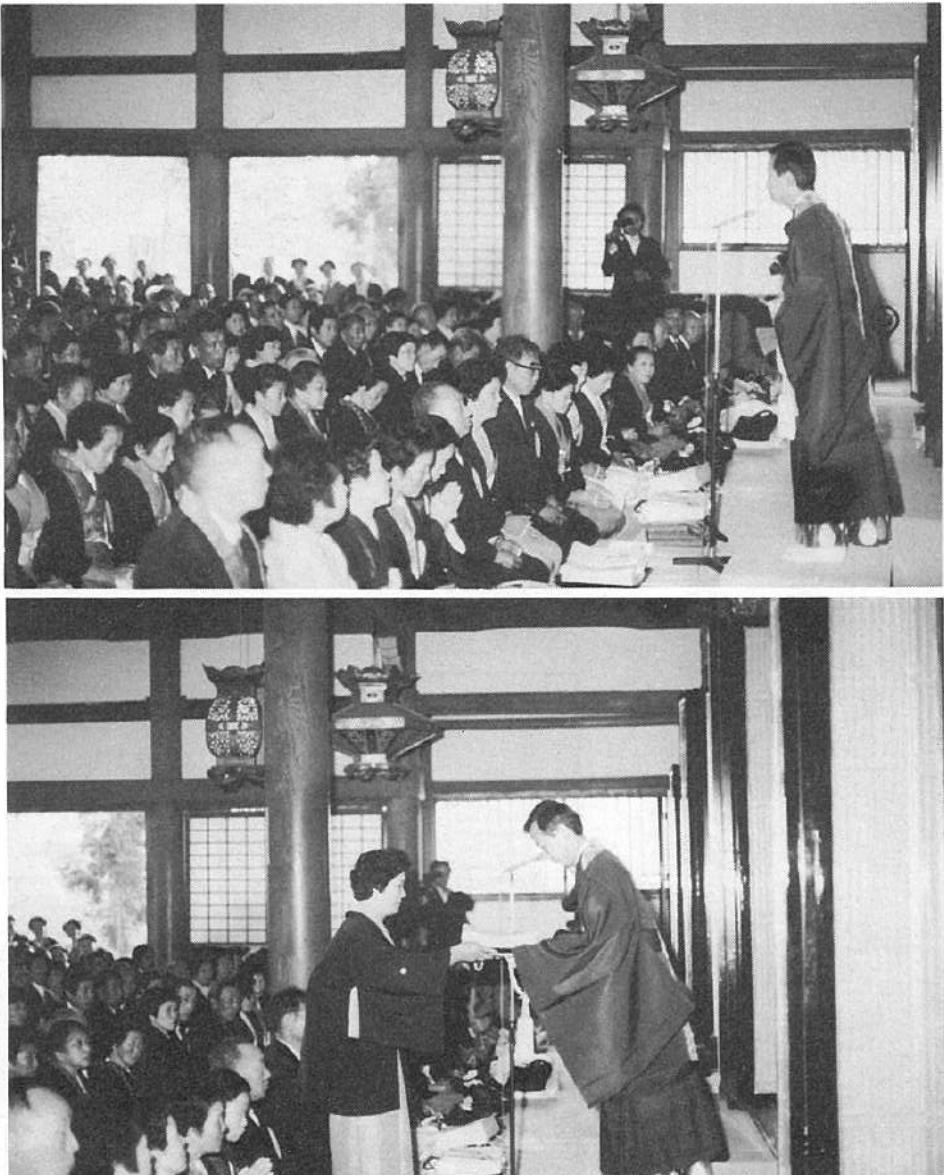


本日善巧寺のご本堂におきまして、仏祖の御前で帰敬式を行いました。これまでの上は、只今の帰敬文の通り、浄土真宗の門徒としての自覚を新たにいたしました。

受式者へのご教諭

土真宗のみ教えは、阿弥陀如来の御本願によつて信心をめぐまれ、お念佛を申す身とならせていただき、淨土真宗の門徒としての自覚を新たにいたしました。

そのままかなえるというわけではありますんけれども、正しい心のよりどころ、いのちのよりどころをえることによつて、心豊かな生活をつづけることが出来ます。これを機会にますますみ教えに耳を傾けられるとともに、社会のため人々のためにも力をつくされよう願っております。



帰敬文

ただいま、仏祖の御前で帰敬式を受け、浄土真宗の門徒としての自覚を、一ぞう新たにいたしました。

御開山聖人のお流れをくみ、尊いみ教えを聞かせていただいて、

（おかみそりをいただかれた方にはもう一度この帰敬文を声に出して、お読みください）

み仏のご本願に救われるよう、びは、はかりしません。

この上は、いよいよふかくめぐみをよろこび、強く明るく生きぬいて、眞宗門徒の本分をつくし、広大の仏恩におむくいする覚悟であります。

（おかみそりをいただかれた方にはもう一度この帰敬文を声に出して、お読みください）



慶びの春
庭 儀

4月29日午前9時半～





慶びの春

ご親修法要

4月29日午前10時半

表白

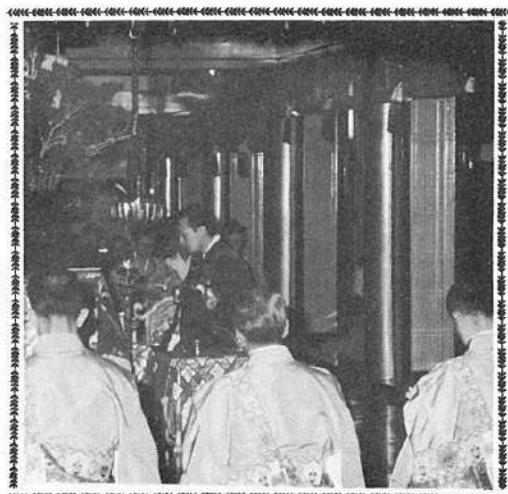
敬
べて西方願王 阿弥陀如來
人界教主 釋迦牟尼佛

本日ここに

うやうやしく 尊前を莊嚴し
わんごろに 聖典を詠誦して
御驚聖人御誕生八百年の慶讃法要を
嚴修したてまつる

承安三年 春のころ
宗祖親鸞聖人

日野の里に誕生しましましきり
聖人おへ年九才にして 佛門に入り
生死出づべき道を求めて佛道を学び



二十九才の春 法然上人の教導により
眞実の救いを阿弥陀如來の本願に見出し
その教えを淨土真宗と名づけたまえり
聖人おん自らの御一生は
つねに愚癡を名のりて

煩惱具足の自己の現実と痛み
ひとえに大悲を仰ぎて

この意あらわれたり
との意あらわれたり
まことには

ひともに大悲を仰ぎて
かがやきいでて みおしえの
まことのみむね ひらきける
そのいさおしの とうときよ

み徳はいよよ いまが世に
かがやきいでて みおしえの
まことのみむね ひらきける
そのいさおしの とうときよ
この師この徳 たたえなん
この意あらわれたり
との意あらわれたり
まことには

聖人の御誕生なかりせば

末世のわれら いかでか

如來の本願にあうことを得んや

幸いに

聖人の御化導によつて われういま
本願に生かされて念佛の生活に入る

その喜び

何ぞこれに過ぐるものあらんや

しかれば すなわち

報じても 報じがたきは 大悲の佛恩
謝しても 謝しがたきは 祖師の遺徳なり

いまや ますに
うけつがれ

この歡喜の心を 祖前に告げ

この讚仰の志を 影前にささぐ

されば 聖人尊影の讚には

おろがなる身とのらせてし

三宝哀愍納受したまえ



宗祖親鸞聖人の御誕生八百年をお祝いいたします。慶讃法要が當ましまして、御縁を得まして、私共京都からまいり、御住職、門信徒の皆さまはじめ御縁の方々と、こうして御一緒におつとめができます。まことにありがたいことと喜んでいる次第でございます。昨日の門信徒の集いでも伺いましたが、この御法要を中心にして、皆様がさまざまな計画をたてられ、準備をすすめてこられまして、その御苦労をいろいろ聞かせていただきながら、こうした一つ一つが、私共のお念仏をよろこぶ御縁につながっていることとうれしく思つたことでござります。

宗祖親鸞聖人の御誕生八百年といふことでございますが、宗祖聖人の御生涯につきましては、皆様よく御承知でございましょう。承安三年春御誕生になりました。西歴になおしますと、一一七三年でございます。日本の國も當時大きな混乱戦乱の時代でございました。京都を中心とした政治が鎌倉幕府

この度の、当善巧寺におきます宗祖親鸞聖人の御誕生八百年をお祝いいたします慶讃法要が當ましまして、御縁を得まして、私共京都からまいり、御住職、門信徒の皆さまはじめ御縁の方々と、こうして御一緒におつとめができます。まことにありがたいことと喜んでいる次第でございます。昨日の門信徒の集いでも伺いましたが、この御法要を中心にして、皆

この度の、当善巧寺におきます宗祖親鸞聖人の御誕生八百年をお祝いいたします慶讃法要が當ましまして、御縁を得まして、私共京都からまいり、御住職、門信徒の皆さまはじめ御縁の方々と、こうして御一緒におつとめができます。まことにありがたいことと喜んでいる次第でございます。

従つてその当時の人々は一体この世に生まれてきた意味はどういう事であろうか、こんなむずかしい時代に生きてゆくには一体何を

ありますかと、言葉はおそらくちがいましょうけれども、そうした気持で日々過ごしておられたのだと想像いたします。

宗祖聖人は、九才

から二十九才まで、少年時代、青年時代を比叡山でお過ごし

になりまして生死出

すべき道を求めてと伝えられてお

りますから、聖人はそうした世の中

に生きてゆく根本問題を真剣に

求めいらっしゃった事が知られるのでございます。生死一生まれ

るという字と死ぬという字が書い

てござりますように、生死を出る、

越えるということは、ただ普通の

意味でこの世に幸せな日暮しがし

たいというところにとどまらない。

もう一步進んでこの世に生きてい

る命の尊さを本当に知る事ができ

るのか、何が一体この世で真実で

あるのかというところまで心を向

けていらっしゃることが知られ

るのでございます。そしてそれは、

世の中が混乱していればいる程、

切実に感じられた事だと思うので

な混乱戦乱の時代でございました。

京都を中心とした政治が鎌倉幕府

へと移つてゆく大きな変り目でございました。それは又世の中のしきみに影響し、又農業をはじめとする人々の生活も大きく移り変わつていった時期でございます。

従つてその当時の人々は一体この世に生まれてきた意味はどういう事であろうか、こんなむずかしい時代に生きてゆくには一体何を

ありますかと、言葉はおそらくちがいましょうけれども、そうした気持で日々過ごしておられたのだと想像いたします。

宗祖聖人は阿弥陀如米の御本願によつて救われてゆくお念仏の道、御本願を信ずる信心

けでありますなら、親鸞聖人、聖人の御生涯をお過ごしになります。また私達

が法然上人の時代より前から、又日本に伝えられるものとの国であります

しかし、お念仏をするというだけではありません。ただ私達にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

が法然上人の時代より前から、又日本に伝えられるものとの国であります。また私達

が阿弥陀如米の御本願でございま

す。これは一体何故たてられたのかという事が淨土真宗の根本だと

お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

如来の精一杯わが身の慈悲にこたえて

によって、救われてゆく道を明らかにして下さったという意味で、

その御苦労は他の方々とは又ちがつた趣きをもつております事も忘れてはならないと思います。

阿弥陀如來の御本願、皆様はよ

くお耳にいらっしゃる事であ

りましよう。十方衆生至心信樂欲

の生活でございましょう。

そうした自分のあり方というものがさまで、お慈悲のありがたさだけを受けとる事は誠にむずかしい事であります。逆に申せば、お慈悲のありがたさを深く聞かせてござりますように、生死を出る、

その御苦労は他の方々とは又ちがつた趣きをもつております事も忘れてはならないと思います。

阿弥陀如來の御本願、皆様はよ

くお耳にいらっしゃる事であ

りましよう。十方衆生至心信樂欲

の生活でございましょう。

そうした自分のあり方というものがさまで、お慈悲のありがたさだけを受けとる事は誠にむずかしい事であります。逆に申せば、お慈悲のありがたさを深く聞かせてござりますように、生死を出る、

その御苦労は他の方々とは又ちがつた趣きをもつております事も忘れてはならないと思います。

阿弥陀如來の御本願、皆様はよ

くお耳にいらっしゃる事であ

りましよう。十方衆生至心信樂欲

の生活でございましょう。

そうした自分のあり方というものがさまで、お慈悲のありがたさだけを受けとる事は誠にむずかしい事であります。逆に申せば、お慈悲のありがたさを深く聞かせてござりますように、生死を出る、

その御苦労は他の方々とは又ちがつた趣きをもつております事も忘れてはならないと思います。

阿弥陀如來の御本願、皆様はよ

くお耳にいらっしゃる事であ

りましよう。十方衆生至心信樂欲

の生活でございましょう。

阿弥陀如來の御本願でございま

す。これは一体何故たてられたのかという事が淨土真宗の根本だと

お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達

にこの世の苦しみを忘れさせて、お浄土で楽しい生活をさせて下さいます。ただ私達



慶びの春

園遊会

4月29日正午~

俱会一処——み仏とみなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。ふかくご恩をよろこび、ご門主さまと一緒にありがたく、いただきます。







慶びの春 記念植樹

4月29日午後1時

育てよヒノキ——法要を記念して、ご門主様にヒノキをお手植していただきました。むかし下新川の門徒は桧皮（ひわだ）講といってヒノキの皮を本山に献納したそうで、それをしのんでの記念植樹です。

二もんしゅさまめりがどう。おひやは、さにこつてくをまし
たが。ちゅうりつじは、キモいびした。ばくは、二人にゆくやあたがいわ
じゆうすや、ふそくもんじゆうじだ。やきとりと、おんは、たべね
やかつたけれど。こもんしゅやまは、たべたをうで
き者。おこしかつたですが。くろぐのおりこんたちがつくつた
からおじじと想りますが。おんしづさまには、おつしん
とりう、こどもがするんである。しゃしんをよしくましましたよ。
しつわぬわしくんたちもつれて、こうちへ、きてくだ
りたが。二月、雪山のりたが

ご門主さまありがとうございます

五、高島 兼輔子

ご門主様。これにちは、「私は喜びます。四月二十八日、二十九日の喜正寺の法事には、處いところさうござおいで下さいます。ありがとうございました。」と前からご門主様がつらぬけるのを、「せんな下策」として、いたしました。私達が寺に徳、アヘ行、た時も處いのとして、モフが付きました。ご門主様も、つがれらぬにてしまつたが、元氣でござる頃に、題した、たのアドバイスもがみんなで、これらに、よろここんでしました。」「門主様に、キーリー、アの花、カリを見て、いただきましたか。」「えー、にがた、てあつたでしょ。」「今年は大人の人都に、も手伝、アモライました。が、つもは日曜学校の生徒が、あります。學校が終り、アからとんでも帰りみんないで、いろいいろおし、べりしせばうがさりました。」「いつだ、たか雨がさ。アカタバを、さてがさ。た時もありましに。今玉は、毎日、晴れの日ばかりでした。法事の時も晴れででした。」「よか、たです。」「つまでも、お元気でいて下さい。さよなら

言宣

言宣

言宣

言宣



菩薩開基親供で行列に参加する子供たち

一谷門主の法話などを記念しての行列。大谷門主は行列入り、沿道には近郊の信徒ら約二千人が詰めかけた。同寺では大谷門主の誕生日に参加したとあって、命日よりも誕生日百倍と思つて、お祭り気分でいた返し。二日お祭りを了めに、この日も、お母さんも生まれたんじよ。いのちの尊貴さを守るために、お母さんも生まられたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。

ジャンボ稚児行列

宇奈月

浦山地区で、二十九日朝、稚児

と付き添いのお母さんら六百三十人を先頭に、お坊さん三十人、お年寄り善男善女千人が繰り出しました。大がかりな稚児行列が行われ、見物人、アマチュアカメラマンで大にぎわいした。

淨土真宗本願寺派・白雪山・善巧寺(雪山俊之住職)が、西本願寺の大谷光真門主を招いて、親鸞聖人誕生八百年を祝う慶讃(さん)大法要を行なったのを記念しての行

列。大谷門主は行列入り、お母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。

菩薩開基親供

ゆきやま たかひろ
雪山 隆弘

<5>

そ、お父さん、お母さんも生まれたんですね。そして、そのお父さん、お母さんのたんじょうがあればこそ、おまごさんも生まれたんですね。……あれうがあればこそ、お孫さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。お母さんはお母さんも生まれたんじよ。

お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。お父さん、お母さんも生まれたんじよ。

「ゴールデンウイークいかがお過ごしですか。きのうは天皇誕生日。うちの寺では毎年の日

は「慶びの春」と称して、いろ

んな方の誕生をお祝いするんで

す。普通は寺の法事というと、

なにかしめやかな感じですけ

ど、誕生日を祝うんだから、パッ

とハデに楽しいやろうじゃな

いか、というわけで、近くの手

っこり、細かい球根を太らず

ためにつみとった繊細な花を、

十数万個もいただいてきて、境内にばらばらにこれを飾って、文

字通りの花まつりをやるんです。

おじゅかさまの誕生、しゃら

んの誕生日が日ですから

天皇さまもおめでとうござ

と、そして親代々、あなたの、わたしの、さ

うに子供の誕生までよろしくつ

じないか」というわけです。

お坊さんといふと、どうも誕

じめでどう。!?へし、おあ

ちゃん、たんじょう日あつたが

け!」

「しゃあ、あるんじゅ、お

らもわすれとっただよ。でも、

それだけ?」

「まだあるわ。あなたのた

んじゅあればこそ、お父さん、

お母さんも生まれたんですね

ね!ふーんそーか。その

命日より誕生日

え・利井 畏子



いのちの尊さ味わう

サンケイ新聞婦人面

四月三十日掲載

富山・善巧寺



慶びの春

お世話方

ごくろうさま！



〔受付〕佐々木与作、本波光雄、
開沢弘、植木幸次郎、根塚卯一、
鬼原勇、久田智登司、久田英子、
大蔵文子、大蔵勝志、桜田富子、高
島ひとみ、田中貴恵、岩崎智子、神子
一英、松木里美、岡田幸子、中久美、
本波央子、二口章子、大田ひとみ、
雪山有花、野島とも子、岩崎勝子、
河村圭子、橋千晶、紙田由美子、
河村令子、川上智子、広長かおる、
上坂浩子、大橋優子、大田久美子、
川昭、佐々木哲也。

〔記録〕野畠博、西中正毅、松
垣照人、水上清、上野玉樹、長谷
川昭、佐々木哲也。

〔中央公民館〕佐々木助一、川
内作一、川瀬久義、開沢泰久、中
山慶太郎、八木秀雄、本波ひさ、
柄沢はる、河村といい、二口民子、
中佐智子、野畠世紀子、中憲一、
中克之、柄沢外茂夫、中易甚一、
紙田純子、庭田朋子、庭田香奈子、
大橋晴子、中淑子、中静子、松木
紀久代、田中球江、中絹江、西中
恵美子、中えつ子、河村早苗、森
田とみ子、中紀子、大角和子、此
川たき子、古田信子、上坂次子、
八木保子、本波悦子、森内正子、
沢田裕紀子、橋本あい子、熊野し
ほみ、菊地二美子。

〔受付〕佐々木与作、本波光雄、
開沢弘、植木幸次郎、根塚卯一、
鬼原勇、久田智登司、久田英子、
大蔵文子、大蔵勝志、桜田富子、高
島ひとみ、田中貴恵、岩崎智子、神子
一英、松木里美、岡田幸子、中久美、
本波央子、二口章子、大田ひとみ、
雪山有花、野島とも子、岩崎勝子、
河村圭子、橋千晶、紙田由美子、
河村令子、川上智子、広長かおる、
上坂浩子、大橋優子、大田久美子、
川昭、佐々木哲也。

〔園遊会〕野畠一雄、橋爪伊左夫、
森岡昭二、船屋幸弘、岡田実、野
村五郎、野崎吉明、浦瀬友一、板
友司、本波忠康、有馬文義、新保
幸夫、上坂実、熊野英一、加藤友博。

〔内作〕野畠博、西中正毅、松
垣照人、水上清、上野玉樹、長谷
川昭、佐々木哲也。

〔中央公民館〕佐々木助一、川
内作一、川瀬久義、開沢泰久、中
山慶太郎、八木秀雄、本波ひさ、
柄沢はる、河村といい、二口民子、
中佐智子、野畠世紀子、中憲一、
中克之、柄沢外茂夫、中易甚一、
紙田純子、庭田朋子、庭田香奈子、
大橋晴子、中淑子、中静子、松木
紀久代、田中球江、中絹江、西中
恵美子、中えつ子、河村早苗、森
田とみ子、中紀子、大角和子、此
川たき子、古田信子、上坂次子、
八木保子、本波悦子、森内正子、
沢田裕紀子、橋本あい子、熊野し
ほみ、菊地二美子。

〔本堂〕本波貫一、中林久吉、
島田松伊。〔凡鐘〕佐々木虎松、
佐々木九郎作、佐々木憲安。〔接
待〕田中まつゑ、橋照子、開沢圭
子、住和美枝子、本波ときゑ、田
中静代、沢田裕紀子、岩崎政子。
〔送迎〕上坂隆、沢田彦志、鬼
原六義。

〔本部〕橋場啓次、鬼原勝次、
尾沢初雄、菊地良造、松平源治、
清水久一、谷口小一郎、藤沢正雄、
川瀬達也、櫻義孝、鳴田久一。
〔その他〕音沢お講当番の皆さ
ん他大勢のみなさんにお世話をいた
しました。

六輪七転八倒 六月八日午後七時半
野体み落語会 是非のお越しを!!

お忘れもの

- 帽子(男物)
- めがね(金メタルフレーム)
- カメラハードケース底部
- おじゆず 男物 黒
- 時計 子供用マンガ入り

写真ができました

法要の写真が、宇奈月のアマチ
ユア写真家のグループ「写樂」の
ご協力で八百余枚、みごとに仕上
がりました。本堂いっぱいに展示
してあります。お講の折にでもご覧になつて下さい。なおこの特集
の写真も「写樂」提供です。

入会希望の方は、お寺までご連絡
下さい。

お話を聴聞させていただきます。
白鶴会はお寺の内陣莊嚴のため
にご協力いたいたご婦人方を中
心にこのたび組織されたもので、
心下、会員募集中です。白鶴会は
寺の護持団体であると同時に聞法
の会であります。

白鶴会はお寺の内陣莊嚴のため
にご協力いたいたご婦人方を中
心にこのたび組織されたもので、
心下、会員募集中です。白鶴会は
寺の護持団体であると同時に聞法
の会であります。

〔六月一日に初の聞法会〕

合掌



いつもの寺報の三倍近くの紙面
をさいても、まだ慶びの春を
語りつくすにはせます。抜
けているところは、あなたの心で
埋めて下さい。

飛んでいておわびしなくては
ならない方や、お礼のいいようの
ない方があまりにも多すぎました
ので、またまた失礼ながら、紙土
より、おわびとお札を申させてい
ただきます。

ありがとうございます！ すみません！